

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年1月28日

【2019年1月19日～2019年1月25日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。先週行われた世界経済フォーラム年次会合(ダボス会議)に出席したボルソナロ大統領の基調演説やゲデス経済相の発言に注目が集まりました。

ボルソナロ大統領の基調演説は質疑応答も含めて15分程度と本来の時間よりも大幅に短く(本来は45分)、内容も一般論に終始し、年金改革についての具体的な見通しが示されなかったことから、ブラジル・レアルは売られました。一方、ゲデス経済相が年金改革や国営企業の民営化、法人税引き下げといった経済政策を披露したことから、ブラジル・レアルは買い戻され、一週間では小幅な下落となりました。

ダボス会議にてゲデス経済相は、最新の年金改革法案は前政権のそれと比べて大幅な歳出削減効果があり、15～30年にわたって財政問題を解決できる、今後3～5カ月間で50もの国営企業を民営化する、現行実質34%である法人税を15%に引き下げる方針である、とそれぞれ示し、新政権の経済政策を世界に向けてアピールしました。

経済指標に関しては、1月のインフレ率(IPCA-15)が発表されました。こちらは前月・前年比ともに市場予想を下回りましたが、材料視されませんでした。

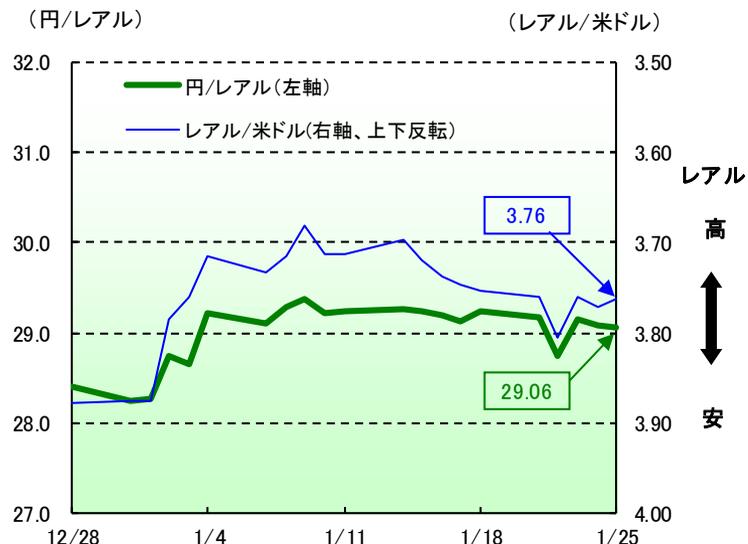
### 【2】今週の見通し

今週は、鉱工業生産や製造業PMI(購買担当者指数)などの経済指標の発表が予定されています。

ボルソナロ大統領は基調演説では年金改革について具体的な見通しを示しませんでした。その後の非公開の会合やインタビューにて、2月の議会開会早々に諸法案を提出する意向であること、懸念されている年金改革に軍人年金を含めるか否かについても、憲法改正が必要な改革を行った後に軍人年金に取り組む、と取れる発言をしており、引き続き今後の展開に注目です。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年12月28日～2019年1月25日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年12月28日～2019年1月25日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>